

## ☆書 評☆

## 「働く女性と健康」多様な視点からのヘルスケア

武谷 雄二 著

今日の我が国では、女性自身も、社会に出て仕事を持つことを当然と考える時代になっており、国は、少子化対策の一環として、働く女性の子作りに期待しています。

しかし女性には、特徴的な月経に関する悩みや、女性特有の疾患もあり、さらに、女性にしかできない妊娠・出産・授乳を考えると、女性の就労には、男性と異なる特別な配慮が必要になって当然なのです。

「働く女性と健康」-多様な視点からのヘルスケア-と題したこの本の著者である武谷雄二氏は、東京大学医学部産科婦人科学教室の助手時代に、女性らしさを示す基本物質である女性ホルモン(エストロゲン)のコントロールメカニズムの研究に専心していました。その後、若くして東大教授に就任し、20年間教室員を指導され、現在は、名誉教授として、働く女性の健康を管理する労働者健康福祉機構の理事長を務めています。

本書は、女性ホルモンに関する学術的視点から、また大学病院の診療で丁寧に診てきた女性の体と心に対する深い理解のもとに、働く女性の悩み、訴えに対して、女性の年齢を問わず、懇切丁寧な解説と回答が記載されています。

特に、取り上げられたテーマの中には、夜間労働の健康への影響、仕事とストレス、働く女性のメンタルヘルス等、武谷氏ならではの、行き届いたテーマが並んでおり、その説明も日々働く女性の皆様にとって、悩まないための指針ともなっています。

また同時に、女性の専門家として大学で教え、教室員である女性医師の健康管理にも留意してきた武谷氏の貴重なご経験から、誰もが、職場で、解決策を知りたい疑問に対して、きわめて平易な言葉で分かりやすく解説しています。働く女性の皆様だけでなく、女性職員の多い職場の責任ある立場の方も、本書を読むと目の前が開けますので、これから女性の皆様の味方となってに接していく上で、大変役立つと思います。是非、手元に置き、熟読していただきたくお勧め致します。(会長・木下 勝之)

発行所 産業医学振興財団 ☎03-3525-8294

定 価 1,944円(税込)